

9
月号

さんわの家広報誌

スリーピース

かわら版



植物と暮らす

『多肉植物を植えよ』

ぷっくりと肉厚で、コロンとしたフォルムがかわいい多肉植物。この肉厚の茎や葉の中には、なんと水を貯めておくことができるという賢い植物。というわけで、あまり頻繁にお水を与える必要がなく、植物を育てるのが苦手な女子や忙しい女子でも比較的扱いやすい植物なのです。

多肉に一番大切なのは光と風通し。とくに光がないと生きていけないのでよく日にあてて元気に育ててあげましょう。光が足りないとヒョロヒョロと痩せてしまい、葉っぱの色も薄くなってしまいます。また、風通りのよい場所に置いてあげることも大切。

1

鉢の底にガーデニング用のネットを敷きさらに水はけをよくするために底石を1/4くらいまで入れます。

2

まずは底石の上に、底石が隠れる程度土を入れます。

3

多肉をポットから外して、軽くをほぐし土の上に配置して置いてみます。バランスを見ながら配置を決めて、空いている場所に土を入れていきます。仕上げに、カバーとして「セラミス」という土を上のにせませす。こうすると、印象も華やかに！

4

霧吹きなどで水をたっぷりあげら完成！



生活の知恵

『木工用ボンドの裏ワザ！』



木工用接着剤といえば、“物をくっつけるだけ”と思われがちですが、使い方次第では、とっても便利なんです！厚く塗って、乾燥させてはがすだけで掃除がしにくい細かい箇所のゴミや錆(サビ)が簡単に取れるんです。

表面にボンドを厚く塗り、ボンドが乾くまで数時間放置します。ボンドは乾くと透明になりますので、透明になるまで待ってくださいね。透明になったボンドを剥がしていきます。すると、錆がごっそり取れて、まるで新品同様にピカピカになります！



他にも、年末の大掃除の標的である換気扇のフィルターや細かいブラシの隙間も、ボンドを厚く塗って透明になるまで乾燥させて剥がせば頑固な汚れもキレイに取れます。



『壁紙に開いた画鋸の穴、気になりますか？』

永年、家に住んでいるとついついやってしまうのが、壁に画鋸を刺すこと。小さい穴だからこそ補修方法が難しいですね。そんな小さな穴をキレイにそして家にあるもので簡単に補修する方法があります！想像以上にキレイに仕上がるので、一度試してみてください♪

☆作業後の仕上がりの違い↓

材料

- ・木工用ボンド(白)
- ・ティッシュ or 紙粘土
- 又はカラー粘土
- ・画鋸

- ①穴の入り口にボンドを付ける
 - ②そこにティッシュを押し当てる
 - ③画鋸でティッシュを穴に詰める
 - ④余分なティッシュをちぎる
 - ⑤はみ出た部分も穴に押し込む
 - ⑥爪でクロス模様の凹凸をつける
- ※壁紙が白ではない場合はカラー粘土をお勧めします。



Before



After

『尾道さんわの家』はfacebookをやっています！



スタッフのブログや日常をFBにて随時更新しております。スタッフが行ったオススメのお店などの情報もあるとか・・・？是非「いいね！」をお願いします♪

こんな事を聞きたい、こんな特集を見てみたい！などのご要望があればどしどしご連絡ください！

三和鉄構建設株式会社 住宅事業部スリーピース編集部
Mail: s-seto@sanwa-group.info
TEL: 0120-506-308 (瀬戸) まで

